



各 位

会 社 名 日本和装ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉田重久
(コード番号：2499 東証第二部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 菅野泰弘
(TEL. 03-3216-0070)

通期業績予想の修正及び拠点の統廃合に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 2 月 13 日に発表いたしました平成 26 年 12 月期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、拠点の統廃合について決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,100	500	450	240	26.66
今回発表予想 (B)	5,800	100	20	△270	△29.99
増減額 (B-A)	△300	△400	△430	△510	—
増減率 (%)	△4.9	△80.0	△95.6	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期)	6,056	508	434	236	26.23

<修正の理由>

当社グループは、平成 24 年度より「顧客参加型企業」を基本方針に定めた施策を実施して参りました。お客様（会員様）が参加し、楽しんでいただける企画を次々と提案することが、お客様からの信頼度や愛着度の向上に繋がり、営業成績に寄与して参りました。

当事業年度においても、「きもの着付け教室」の卒業生である会員様を対象としたイベントでは、例年以上に高級感・高揚感を演出したことにより、購入単価の向上や、1 イベントにおける取扱高が過去最高額になるなど、特に第 2 四半期累計期間までの営業成績は好調に推移しました。しかし、続く第 3 四半期においては、同様の推移を見込んで取り組んだものの、先行支出した諸経費に見合う取扱高には及びませんでした。

また、将来的に当社グループの会員様となる「きもの着付け教室」の新規受講生の募集には、3 年前から会員様が出演する広告を展開して参りました。広告活動自体が会員様に楽しんでいただく「顧客参加型」の企画になると同時に、口コミ的な広がり期待しての施策でしたが、この広告手法による新規受講生数の減少傾向は否めず、当事業年度においては、特に 8 月から 9 月にかけて募集した秋の教室で受講生数が減少しました。

当社グループの業績は、第1・第3四半期において経費計上が先行し、第2・第4四半期を中心に売上を計上する特徴的な季節変動性を持ち、特に第4四半期に販売機会が集中することから、例年、通期業績が読み難いものの、現時点における、お客様（会員様）向けイベントでの取扱高の進捗や、秋の教室の受講生数減少を踏まえると、当事業年度は第4四半期での急激な回復は難しいと判断し、売上高、営業利益、経常利益をそれぞれ下方修正するものです。あわせて、次項で説明する特別損失の計上により、当期純利益についても下方修正するものです。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は今後の様々な要因の変化により、予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. 拠点の統廃合について

本日開催の取締役会において、営業拠点の統廃合を決定しました。

12局3支部の営業拠点を廃止し、人材や経営資源を大都市圏及びその周辺地域の拠点に統合します。近年の「都心回帰」といえる大都市圏での人口増加を踏まえ、女性の生産年齢人口（15歳～64歳）の多い地域に経営資源を集中することで、「きもの着付け教室」の新規受講生についても効率的な募集が見込めると判断したためです。

本件に伴い、固定資産の除却や、拠点の撤退費用等を当事業年度で認識することから、2億9千万円の特別損失を計上する見込みとなりました。

なお、来期以降の業績に与える影響については現在精査中ではありますが、平成27年2月12日に予定しております、平成26年12月期決算短信の開示の中で、平成27年12月期の業績予想としてお知らせする予定です。

3. 今後の取り組みについて

来年春の「きもの着付け教室」受講生募集では広告手法を転換します。会員様に出演いただく広告手法にした平成24年以前は、有名タレントを起用したコマーシャルを展開し、新規受講生数が増大した実績があります。この実績をもとに、来年春の広告でも有名タレントを起用することで、教室の認知度を向上させ、将来的に当社グループの会員様となる新規受講生数の増大を図ります。

4. 配当について

本件による、平成26年12月期の配当予想の修正はありません。

（ご参考）平成26年12月期の配当予想

	1株当たり配当金		
	第2四半期	期末	合計
当期実績	2円		
当期予想		3円	5円

以上